

伊方町 チャレンジ フィールド プロジェクト

【課題】急激な人口減少と高齢化

- 人口8,424人(10年間で約2,200人減少) ※人口: R4.12.1現在
- 65歳以上の人口4,084人(2人に1人が高齢者)
- 高齢化率約48.4%(全国平均約28%、愛媛県平均約32%)

令和3年11月 IT企業(株)スカラと連携協定を締結
役場と民間事業者の立場を超えてアイデアを出し合い
課題解決に挑む人々が集まる共創基盤「チャレンジフィールド」を構築
【高齢化の諸課題に注力】

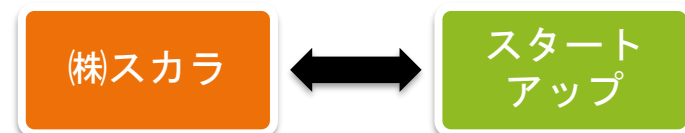
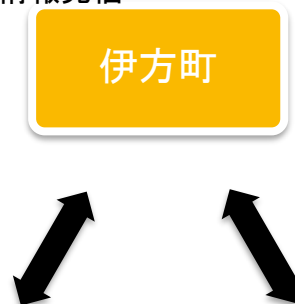
伊方町チャレンジフィールドの概要

集落のグループホーム化

- ICTを活用した共助による健康管理サービスや買い物、食事などの「IKATAモデル」を作成
- 創業・起業に意欲のある「スタートアップ」を誘致

- ・ 超高齢、過疎の状況を逆手に取り、町を健康長寿実現のための産官学によるオープンイノベーションの場として特徴づけ。
- ・ 成果等については、国内外に戦略的に発信

- ・ フィールド(課題)提供
- ・ 研究補助
- ・ 情報発信



- ・ 総合調整(首都圏窓口)
- ・ 町と企業の効果的な繋ぎ
- ・ 課題解決に向けた研究・開発等

関連するスタートアップ・事業者を巻き込みながら様々な取り組みを進行中

取り組み状況

二名津(二れあいカフェ) 2022年1月～



- 血管年齢測定
- 歌と音楽を取り入れた健康体操
- 海外スタートアップと連携した顔認証による買い物実験

SCALA 第一興商



伊方町

八西ケーブルテレビ 2022年7月
モデル地区の取り組みを発信し他の集落に展開する仕組みづくり

三崎(日だまり会) 2022年10月
孤食解消を目的に活動する団体と共食のモデル作り

ハイブリッド交通 2023年1月
地域の配食や買い物ニーズも踏まえた柔軟な交通のモデル作り

大久出張診療所⇄瀬戸診療所 2022年5月



- 無医集落の解消に向けたオンライン診療
- ドローンを活用した薬の配送実験

地域おこし協力隊 (事業提案型)



伊方スポーツセンターを拠点に子どもからお年寄りまで幅広い世代の健康づくりをサポートする「**メディカルフィットネストレーナー**」を協力隊として導入

- ・診療施設や介護施設と連携したメディカルフィットネス事業
- ・町有施設や集会所等を活用した健康教室
- ・プロスポーツ選手を誘致したトレーニング、リハビリ、学校と連携した子ども教育 等



新潟医療福祉大学
元教授
学術的な見地からサポート

今後も地域課題を精力的に発掘し、パートナー事業者を募集していきます

伊方町
チャレンジ
フィールド
プロジェクト